

いなべ市 総合戦略

(第2次いなべ市総合計画抜粋)

平成 27 年 12 月

いなべ市地方創生推進本部

【目次】

| | |
|---------------------|----|
| 第1章 基本的な考え方..... | 1 |
| 1 策定の趣旨..... | 1 |
| 2 総合戦略の対象期間..... | 1 |
| 3 総合計画との関係..... | 1 |
| 4 戦略の策定体制..... | 2 |
| 第2章 総合戦略の方向性..... | 3 |
| 1 総合戦略のめざすもの..... | 3 |
| 2 戦略の施策体系..... | 4 |
| 第3章 いなべ市総合戦略..... | 5 |
| 戦略の見方..... | 5 |
| 1 しごと創生プロジェクト..... | 6 |
| 2 であい創生プロジェクト..... | 12 |
| 3 みらい創生プロジェクト..... | 20 |
| 4 くらし創生プロジェクト..... | 28 |
| 第4章 戦略の推進にあたって..... | 38 |
| 1 戦略の推進体制..... | 38 |
| 2 戦略の進捗管理..... | 38 |
| 資料編..... | 39 |
| 1 策定経過..... | 39 |
| 2 用語解説..... | 40 |

第 1 章 基本的な考え方

1 策定の趣旨

本戦略は、平成 26 年 12 月 27 日に策定された国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し策定するものです。また、「いなべ市人口ビジョン」で示した本市の人口動向等における現状・課題をふまえ、人口の将来展望の実現に向けて講じる施策の基本的方向、具体的な取組を取りまとめたものです。

2 総合戦略の対象期間

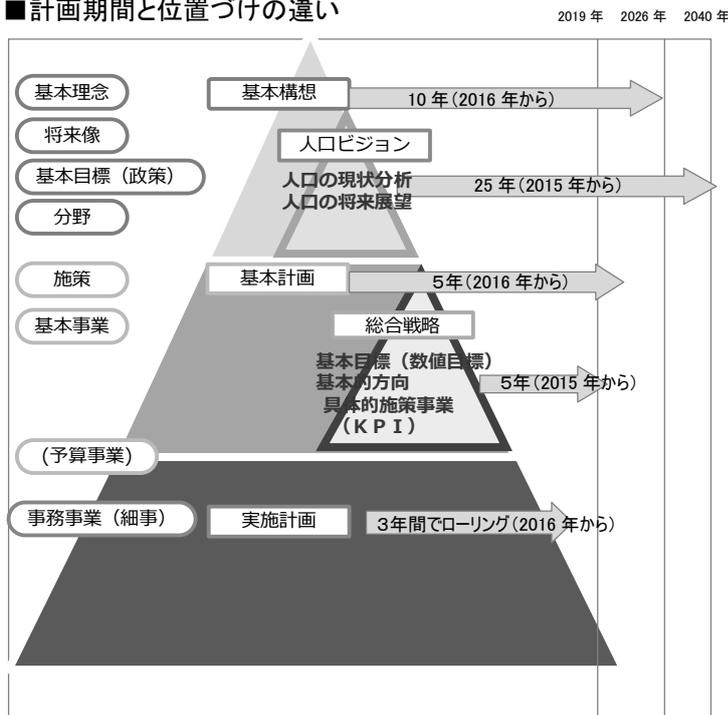
総合戦略の対象期間は、平成 27 年度（2015 年度）から平成 31 年度（2019 年度）までの 5 年間とします。

3 総合計画との関係

総合計画は、市の最上位計画であり、今後 10 年間の大きな方向性を示すものとなります。総合戦略は、そのなかで特に人口減少の克服、地方創生を目的としているものであり、人口ビジョンは特に人口の将来展望について検討したものとなります。人口ビジョンと総合戦略については、総合計画における人口フレームや基本構想、基本計画をふまえたうえで策定します。

なお、総合戦略における施策・事業は、すべて、「第 2 次いなべ市総合計画」における「基本計画」に位置づけられるものであり、当該施策については、「総合計画基本計画」において、「地方創生との関係」という項目で記載しています。

■計画期間と位置づけの違い



4 戦略の策定体制

本戦略策定にあたっては、「いなべ市総合計画審議会」において、「第2次いなべ市総合計画」とあわせて審議・検討を行いました。

市民意見の聴取については、市民や企業、地域金融機関、メディアを対象とした調査を実施するとともに、平成26年度に実施した「第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査」の結果を反映しました。

調査の概要

【市民意向調査】

- ・調査地域：いなべ市全域
- ・調査対象者：下記の表に記載
- ・調査期間：平成27年6月末まで
- ・調査方法：調査票による本人記入方式
郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

| 調査区分 | 配布数 | 回収数 | 有効回収率 |
|----------------------------------|--------|--------|-------|
| 進学や就職、結婚、出産等に関する意向調査(18歳から49歳まで) | 3,330件 | 1,256件 | 37.7% |
| 退職後の暮らしに関する意向調査(50歳から64歳まで) | 1,970件 | 1,157件 | 58.7% |

【企業等調査】

- ・調査地域：いなべ市に係る企業等
- ・調査対象：下記の表に記載
- ・調査期間：平成27年8月末まで
- ・調査方法：調査票による記入方式
郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

| 調査区分 | 配布数 | 回収数 | 有効回収率 |
|------------------------------------|-----|-----|-------|
| 市内企業調査(従業員50人以上の企業) | 31件 | 15件 | 48.4% |
| 地域金融機関調査(指定金融機関、指定代理金融機関、収納代理金融機関) | 13件 | 7件 | 53.8% |
| メディア調査 | 17件 | 2件 | 11.8% |

第2章 総合戦略の方向性

1 総合戦略のめざすもの

総合戦略は、本市の最上位計画である「第2次いなべ市総合計画」の中に位置づけられるものであり、本戦略は、総合計画で掲げている「まちづくりの基本理念」や、「まちの将来像」をふまえるものとします。

また、「定住人口」「交流人口」の2つの「人口」に着目した“住んでいーな！”を実感できるまち」「来ていーな！”を実感できるまち”を本戦略の横断的な視点とし、それぞれの視点をふまえ、人口拡大に向けた施策・事業を位置づけるものとします。

さらに、戦略立案にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成26年12月閣議決定）で示される4つの政策分野をふまえた、いなべ市独自の4つのプロジェクトを設定し、体系的・計画的な施策推進を図ります。

●●● まちづくりの基本理念とまちづくりの将来像（総合計画・総合戦略共通）

基本理念（まちづくりを進めるうえでの基本となる考え方）

いきいき笑顔応援のまち

将来像（基本理念をふまえ、10年後にめざすいなべ市の姿）

住んでいーな！来ていーな！ 活力創生のまち いなべ

●●● 総合戦略のめざすもの

戦略の視点

定住対策でめざすもの

“住んでいーな！”を
実感できるまち いなべ

移住・交流対策でめざすもの

“来ていーな！”を
実感できるまち いなべ

4つのプロジェクト

国の政策分野1

地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

⇒ **しごと創生プロジェクト**

国の政策分野3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

⇒ **みらい創生プロジェクト**

国の政策分野2

地方への新しいひとの流れをつくる

⇒ **であい創生プロジェクト**

国の政策分野4

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

⇒ **くらし創生プロジェクト**

2 戦略の施策体系

プロジェクト

基本的な方向性

しごと創生プロジェクト

- 1 企業立地による産業の振興
- 2 にぎわいのある商工業の振興
- 3 女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進
- 4 魅力ある農林業の振興

であい創生プロジェクト

- 1 良好な居住環境づくりの推進
- 2 快適な道路網の充実
- 3 公共交通の充実
- 4 いなべブランドの創造
- 5 定住・移住・交流の促進
- 6 魅力ある観光地づくりの推進

みらい創生プロジェクト

- 1 子どもと母親の健康の確保
- 2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
- 3 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成
- 4 保育サービスの充実
- 5 地域における子育て支援の充実
- 6 子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実

くらし創生プロジェクト

- 1 高齢者が笑顔で自分らしく暮らせるまちづくりの推進
- 2 地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進
- 3 地域医療体制の充実
- 4 安全で安心な危機管理対策の推進
- 5 安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進
- 6 地域の助け合いによる福祉の充実
- 7 市民が主役のまちづくり

第3章 いなべ市総合戦略

戦略の見方

1 しごと創生プロジェクト

—地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

現状・課題

- 本市では、企業誘致の成功により、企業の操業に伴い人口が大幅に増え、また世界的な経済不況が発生した年には転出者が増えるといった、市内企業の動向が人口に大きく影響を及ぼしているという特徴があります。
- 市の基幹産業は「輸送用機械器具製造業」に一点特化しています。市民意向調査によると、企業や求人への選択肢の多さを理由に、市外での就職を希望する学生が6割強を占めており、市内での雇用の受け皿の多様化が求められています。
- 企業等調査によると、いなべ市で企業活動を行うにあたっての弱みとして「労働力の確保」をあげている企業が多く、雇用と就労のマッチングが課題となっています。
- 企業等調査によると、成長が期待される産業分野として「農林水産業」をあげている地域金融機関が多くなっています。農業振興に向け、担い手の確保や農産物のブランド化等を進めていく必要があります。

アンケート等からの意見

■市内企業等の声

労働力の確保が最大の課題。企業の魅力アップや、女性の活躍促進、キャリア採用など人材を幅広く受け入れていく努力が必要。
(市内企業)

人材を確保していくためには、いなべ市が働きやすく、住みやすいまちであるというPR活動が必要である。
(市内企業)

地域産業の発展に向けた創業や、地域資源活用等をサポートするためのビジネスマッチングの取り組みに注力していく。
(地域金融機関)

■市民の声

就職する企業が増えること。子どもを持つ親も働けるような場も増えてほしい。
(30代女性)

大学では地方に行ったとしても帰って来なくなる企業があれば、戻って来ると思う。地元優先で就職できる企業があるとよい。
(40代女性)

企業を増やしてほしい。就職先があるのでいなべ市に帰りたい。
(10代男性)

企業誘致や本社機能のいなべ市への誘致を積極的に行い、いなべ市の自主財源及び雇用機会を確保してほしい。
(40代男性)

第一次産業を引き継いでいく人材が不足している。いまある組織の定着も含めて、田畑をお世話を活用してはどうか。
(50代男性)

人口ビジョンなどの内容をふまえた、本市における現状・課題を記載しています。

市民意向調査や企業等調査からの声を記載しています。

プロジェクトごとの方向性と、総括的な数値目標を設定しています。

今後の方向性

企業等の推進や、起業・創業支援、雇用と就労のマッチングにより、安定した雇用の供給を図り、賑わいと活気のあるまちづくりを進めます。また、農業の担い手の確保や、地産地消の推進等により、持続性のある安定的な農業生産活動を支援するとともに、市内の特産品を活用した産業振興を進めます。

■数値目標

| 数値目標 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------|----|----------|----------|
| 従業者数(工業統計) | 人 | 16,382 | 18,000 |
| 事業所数(工業統計) | 社 | 176 | 180 |

基本的な方向性1

企業立地による産業の振興

○時流に合った優良な企業の誘致や、雇用と就労のマッチングにより、市内での安定した雇用の供給を図ります。

○魅力ある企業の立地により、市への賑わい、活気の創出を図るとともに、自市内での就業率を高め、就職を理由とした市外への人口流出を抑制します。

住んで
いーな！

来て
いーな！

基本事業1 企業誘致活動の推進

- 既存企業との定期的な情報交換会を実施し、情報収集を行います。
- 企業訪問によりPR活動を積極的に行います。
- 市内企業の魅力のPRや、雇用、就労のマッチングを行います。

構成する事務事業

・企業誘致推進事務

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------|----|----------|----------|
| 企業立地件数(累計) | 件 | 1 | 4 |

総合計画の「地方創生との関係」を記載しています。

また、「住んでいーな！」「来ていーな！」の視点を示しています。

総合計画の基本事業名と、主な事務事業名を記載しています。

基本事業ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

1 しごと創生プロジェクト

—地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

現状・課題

- 本市では、企業誘致の成功により、企業の操業に伴い人口が大幅に増え、また世界的な経済不況が発生した年には転出者が増えるといった、市内企業の動向が人口に大きく影響を及ぼしているという特徴があります。
- 市の基幹産業は「輸送用機械器具製造業」に一点特化しています。市民意向調査によると、企業や求人を選択肢の多さを理由に、市外での就職を希望する学生が6割強を占めており、市内での雇用の受け皿の多様化が求められています。
- 企業等調査によると、いなべ市で企業活動を行うにあたっての弱みとして「労働力の確保」をあげている企業が多く、雇用と就労のマッチングが課題となっています。
- 企業等調査によると、成長が期待される産業分野として「農林水産業」をあげている地域金融機関が多くなっています。農林業振興に向け、担い手の確保や農林産物のブランド化等を進めていく必要があります。

アンケート等からの意見

■市内企業等の声

労働力の確保が最大の課題。企業の魅力アップや、女性の活躍促進、キャリア採用など人材を幅広く受け入れていく努力が必要。
(市内企業)

人材を確保していくためには、いなべ市が働きやすく、住みやすいまちであるというPR活動が必要である。
(市内企業)

地域産業の発展に向けた創業や、地域資源活用等をサポートするためのビジネスマッチングの取組に注力していく。
(地域金融機関)

■市民の声

就職する企業が増えること。子どもを持つ親も働けるような場も増えてほしい。
(30代女性)

大学では地方に行ったとしても帰って来なくなる企業があれば、戻って来ると思う。地元優先で就職できる企業があるとよい。
(40代女性)

企業を増やしてほしい。就職先があるのであれば、いなべ市に帰りたい。
(10代女性)

企業誘致や本社機能のいなべ市への誘致を積極的に行い、いなべ市の自主財源及び雇用機会を確保してもらいたい。
(40代男性)

第一次産業を引き継いでいく人材が不足している。いまある組織の定着も含めて、田畑をお世話する組織を活用してはどうか。
(50代男性)

今後の方向性

企業誘致の推進や、起業・創業支援、雇用と就労のマッチングにより、安定した雇用の供給を図り、にぎわいと活気のあるまちづくりを進めます。

また、農業の担い手の確保や、地産地消の推進等により、持続性のある安定的な農業生産活動を支援するとともに、市内の特産品を活用した産業振興を進めます。

■数値目標

| 数値目標 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------|----|----------|----------|
| 従業者数(工業統計) | 人 | 16,382 | 18,000 |
| 事業所数(工業統計) | 社 | 176 | 180 |

基本的な方向性1

企業立地による産業の振興

○時流に合った優良な企業の誘致や、雇用と就労のマッチングにより、市内での安定した雇用の供給を図ります。

○魅力ある企業の立地により、市へのにぎわい、活気の創出を図るとともに、自市内での就業率を高め、就職を理由とした市外への人口流出を抑制します。

住んで
いーな!

来て
いーな!

基本事業1 企業誘致活動の推進

- 既存企業との定期的な情報交換会を実施し、情報収集を行います。
- 企業訪問によりPR活動を積極的に行います。
- 市内企業の魅力のPRや、雇用、就労のマッチングを行います。

構成する事務事業

・企業誘致推進事務

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------|----|----------|----------|
| 企業立地件数(累計) | 件 | 1 | 4 |

基本事業2 産業用地の整備及び確保

○企業進出のタイミングを見計らいながら、未利用工業団地の維持管理を適正に行うとともに、中小企業向けの小規模な用地の確保を行います。

構成する事務事業

・工業団地管理事務

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|--------------|----|----------|----------|
| 企業相談件数(各年延べ) | 件 | 2 | 8 |

基本的な方向性2

にぎわいのある商工業の振興

○起業、創業の支援により、市内での雇用の受け皿の拡大と多様化を図ります。

○にぎわいと活気の創出により、交流人口の増加を図ります。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業1 商工業の活性化支援

○空き店舗対策や市内進出企業の異業種交流の推進などにより、にぎわいのある商工業を推進します。

構成する事務事業

・商工団体イベント補助事業
・いなべ市商工会運営補助事業
・小規模事業者支援事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------|----|----------|----------|
| 商工会への加入団体数(累計) | 団体 | 1,010 | 1,018 |
| 創業相談件数(各年延べ) | 件 | 0 | 12 |

基本事業2 中心市街地の活性化

○阿下喜地区の歴史ある街並みの再開発を進め、阿下喜地区の空き店舗活用や飲食店、物販店の誘致により、中心市街地の活性化を図ります。

構成する事務事業

・中心市街地活性化事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|--------------------------|----|----------|----------|
| 阿下喜地区の空き店舗活用等による出店件数(累計) | 件 | 0 | 3 |

基本事業3 地域産業創出支援の充実

○都市部での農産品などのテストマーケティング及び販路の開拓を行います。また、外部人材を活用した起業、創業の相談など創業支援を行います。

構成する事務事業

・地域産業創出事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------------|----|----------|----------|
| 地域産業創出数(各年延べ) | 件 | 0 | 3 |
| 商品開発テストマーケティング回数(各年延べ) | 回 | 0 | 12 |
| 販路開拓件数(累計) | 件 | 0 | 3 |

基本的な方向性3**女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合うまちづくりの推進**

○市全体への男女共同参画の意識醸成を図り、女性が活躍できるまちづくりを進めます。

住んで
いーな！

来て
いーな！

基本事業 1 男女共同参画の環境づくり

○女性も男性も、家庭、子育て・教育、まちづくりなどあらゆる分野において、互いに認め合い、誰もが個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会をつくります。

構成する事務事業

・男女共同参画啓発事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|--------------------------------------|----|----------|----------|
| 審議会等への女性登用率(各年) (女性委員数/審議会等の総委員数) | % | 17 | 30 |

○農林業の担い手確保や農作物の品質向上、安全性の確保などによる農林業振興を進めます。

住んで
いーな!

来て
いーな!

基本事業1 集落を基軸にした担い手への支援

- 集落単位で策定した「人・農地プラン」により、認定農業者・認定新規就農者・集落営農組織を明確にして、「集落ぐるみ型農業生産活動」を推進します。
- 農業の有する多面的機能の維持、発揮のため、地域の共同活動や営農活動を集落ぐるみで支え合う体制の整備を推進します。

構成する事務事業

- ・中山間地域等直接支払事業
- ・多面的機能支払交付金事業
- ・農業振興事業
- ・経営体等育成支援事業
- ・経営所得安定対策推進事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------|----|----------|----------|
| 人・農地プラン策定集落数(累計) | 集落 | 84 | 100 |
| 新規就農者数(各年) | 人 | 6 | 10 |

基本事業2 安心、安全で安定した農業の振興

- 家畜ふん尿を適切に処理した堆肥を耕種農家に供給して、環境にやさしい資源循環型農法を推進します。
- いなべ産品利用宣言の店認定証交付及びのぼり旗交付、ホームページでの広報等を行い、地産地消の活動を推進します。
- 市内の特産品を活用し、産業振興につなげます。特にそばについては、そば祭りを中京圏に発信します。また、手打ちそばの段位認定会を利用し、市民にそば打ちを推進します。

構成する事務事業

- ・農業活性化施設管理事業
- ・農業振興施設事業
- ・農業関係組織育成事業
- ・地産地消推進事業
- ・畜産事業
- ・家畜伝染病対策事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------|----|----------|----------|
| そば祭り入場者数(各年延べ) | 人 | 6,000 | 10,000 |

2 であい創生プロジェクト

—地方への新しい人の流れをつくる

現状・課題

- 本市は、北に多度山地、西に鈴鹿山脈をいだき、市のほぼ中央を流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれています。市民意向調査によると、いなべ市に愛着を感じる理由として、「自然に恵まれているため」を回答している人が多くなっており、豊かな自然環境に魅力と誇りを感じている人が多くなっていることがわかります。市民自身が魅力とを感じる自然を活かしたまちのPRが必要となっています。
- 近年の宅地・建物分譲は低調となっているものの、市民意向調査での住宅の新築、購入の状況は、将来的な希望も含めると6割近くになっています。市への移住・定住を進めるためにも、市民のニーズをとらえた住宅の新築、購入支援を行っていくことが求められています。
- 市民意向調査によると、住宅を新築、購入する際の周辺環境の条件や、定住のための条件として「通勤・通学などの利便性」を重視している割合が多くなっています。交通インフラの整備は、定住のみならず、外から人を呼び込むことにも寄与するため、既存の公共交通機関や道路網の利便性の向上とあわせて、東海環状自動車道、新名神高速道路の整備を契機とした交流の活発化を図ることが重要となっています。
- 近年は観光交流人口が減少しています。既存の観光資源の魅力のPRや、本市の地域資源を活かした新たな観光メニューの開発が必要となっています。

アンケート等からの意見

■市内企業等の声

豊かな自然に恵まれており、魅力ある観光資源もあるものの、十分に発信されておらず、また観光客の滞在施設も少ない。

(地域金融機関)

住民自身が何を魅力に感じ、どのような人に向けて発信したいのかを捉えることが最も重要である。

(メディア)

空き家、空き店舗を、いなべブランドを発信できる店舗として利用してはどうか。

(地域金融機関)

■市民の声

空き家対策として、家屋解体・更地となった際の固定資産税の減税や、リフォーム時の補助、入居者への仲介をしてほしい。

(40代女性)

いなべ市ならではの、ほかにはないことを発見してPRして人を呼び込んでほしい。

(10代男性)

いなべ市の自然を活かしたイベントをもっと開催してほしい。

(20代女性)

北勢線の存続を望む。車だけではなく、公共交通機関での人の往来はなくてはならない。いつまでも車に乗れる人ばかりではないと思う。

(50代女性)

年齢や家族の状況によって必要なものは変化するが、田舎暮らしの風景がいつまでも残っていることが必要だと思う。

(40代男性)

今後の方向性

本市の魅力である豊かな自然、里山、農林産物等の地域特有の資源（グリーン）を発掘し、都会的なものに磨きあげる感性（ローカルセンス）と融合させ、都会の人々を魅了するモノ・コト・トキまで高めていく一連の創造活動である「グリーンクリエイティブいなべ」を主軸とし、観光振興、シティプロモーションの推進により、魅力あるまちづくりを進めます。

また、道路網の整備や公共交通の利便性の向上、空き家等を活用した住まいの整備など、総合的な環境整備を進め、市内での交流人口を拡大します。

■数値目標

| 数値目標 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-------|----|----------|----------|
| 観光集客数 | 人 | 390,794 | 418,200 |

基本的な方向性1

良好な居住環境づくりの推進

○民間の宅地開発にあたり、適切な指導・助言を行います。

○空き家の活用により、移住、定住の促進を図ります。

住んで
いなべ！

来て
いなべ！

基本事業1 空き家活用の促進

○空き家バンク制度の活用により、空き家住宅の有効利用を図り、地域の生活環境の保全を図ります。

構成する事務事業

・空き家住宅活用事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|--------------------------|----|----------|----------|
| 空き家バンク登録物件の契約成立数 (累計) | 件 | 2 | 14 |

基本的な方向性2

快適な道路網の充実

- 幹線道路網や生活道路網の整備により、市民の日常生活の利便性の向上を図ります。
- 道路環境のバリアフリー化により、誰もが安心して生活できる環境を整備します。
- 自転車用道路等も含めた道路網の整備により、交流人口の増加を図ります。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業 1 生活道路網の整備

- 国道 306 号新鞍掛トンネルの整備促進や国道 365 号バイパスの早期完成を促進します。また、県道・主要地方道では、県道四日市員弁線バイパスをはじめ、近隣市町、工業団地などを結ぶ道路網の整備を促進し、市内幹線道路の充実を図ります。
- 集落間や公共施設間を結ぶため、関係自治会や地権者の協力を得て生活道路や橋梁の整備を図ります。また、市道に架かる橋梁、トンネル、歩道橋などについては定期点検を行うとともに、長寿命化のための修繕工事を実施し、適正な維持管理を行います。さらに、通勤、通学などの自転車、歩行者の安全を図るため、歩道の整備を進めるとともに、交差点、歩道などのバリアフリー化を行います。

構成する事務事業

- ・社会基盤施設整備促進事業
- ・道路橋梁維持補修事業
- ・防災・安全交付金事業
- ・県単道路改良事業
- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・市単独道路改良事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-------------|----|----------|----------|
| 市道の改良延長(累計) | km | 530 | 534 |
| 歩道の設置延長(累計) | km | 65 | 73 |

基本事業 2 高速道路の整備促進

○平成 27 年度に東海環状自動車道の四日市ジャンクション～新四日市ジャンクション～東員インターチェンジ間、さらに平成 30 年度に東員インターチェンジ～大安インターチェンジ間が公表どおり開通できるよう、また、残り区間が早期に開通されるように県内及び県外の市町村と連携しながら国、県等関係機関に早期の全線開通に向け働きかけます。

構成する事務事業

・高速道路整備促進事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-----------------|----|----------|----------|
| 市内の高速道路設置延長(累計) | km | 0 | 2.8 |

基本的な方向性3

公共交通の充実

○公共交通の利便性の向上により、市民の転出抑制、定住促進を図ります。

○本市と他市町村とをつなぐ通勤・通学の主要交通手段である三岐鉄道の活性化により、交流人口の増加を図ります。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業 1 鉄道交通の整備

○三岐鉄道との連携強化を図り、三岐鉄道北勢線の利用者数の増加に向けて、多様な広報やイベントなどを開催します。

構成する事務事業

・三岐鉄道支援事業

・新交通システム建設促進事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---------------|----|-----------|-----------|
| 北勢線利用者数(各年延べ) | 人 | 2,438,911 | 2,490,000 |

基本事業2 バス交通の整備

○地域住民の身近な交通手段として、福祉バスの効率的かつ利便性・安全性の高い運行を推進します。また、交通空白地への対応を進めます。

構成する事務事業

・福祉バス運行事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------|----|----------|----------|
| 福祉バス利用者数(各年延べ) | 人 | 99,888 | 116,000 |

基本的な方向性4

いなべブランドの創造

○グリーンクリエイティブいなべを通じていなべ市の新たな価値を創造し、移住交流の促進を図ります。

○シティプロモーションの戦略を立案し、効果的な情報発信により、まちへの注目度とイメージの向上を図ります。

住んで
いなべ!

来て
いなべ!

基本事業1 グリーンクリエイティブいなべの推進

○グリーンクリエイティブいなべを推進し、いなべブランドを創造します。

構成する事務事業

・グリーンクリエイティブいなべ推進事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-----------------|----|----------|----------|
| 「にぎわいの森」出店数(累計) | 店舗 | 0 | 7 |

基本事業2 シティプロモーションの推進

○都市部をターゲットとしたシティプロモーションに取り組みます。

構成する事務事業

・グリーンクリエイティブいなべ推進事業(再掲)

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------------------------|----|----------|----------|
| グリーンクリエイティブいなべホームページアクセス件数(各年延べ) | 件 | 0 | 35,000 |

基本的な方向性5

定住・移住・交流の促進

○人口減少に歯止めをかけるために、分野の垣根を越えた横断的、一体的で効果的な取組を推進します。

住んで
いなべ!

来て
いなべ!

基本事業1 外部人材の協力による移住交流の促進

○雇用の創出や若い世代の結婚、出産、子育ての支援など、人口減少に歯止めをかけるために有効な取組について、分野の垣根を越えた横断的で一体的な事業を効果的に推進します。

構成する事務事業

・地域おこし協力隊募集事務

・地域おこし協力隊事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-----------------|----|----------|----------|
| 地域おこし協力隊隊員数(累計) | 人 | 0 | 15 |

基本的な方向性6

魅力ある観光地づくりの推進

○市の地域資源を活かした観光振興により、交流人口を拡大します。

住んで
いーな!

来て
いーな!

基本事業 1 多様な観光施設の充実

○市内外からの集客を図るため、農業公園や阿下喜温泉など、市の観光施設の維持管理を行います。

構成する事務事業

- ・阿下喜温泉施設指定管理事業
- ・阿下喜温泉施設管理事業
- ・農業公園指定管理事業
- ・観光客受入施設管理事業
- ・観光施設整備事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-----------------|----|----------|----------|
| 農業公園の集客数(各年延べ) | 人 | 69,539 | 108,000 |
| 阿下喜温泉の集客数(各年延べ) | 人 | 140,566 | 142,000 |

基本事業 2 イメージアップと集客力の向上

- サイクルツーリズムによる自転車を活かしたまちづくりを進め、ツアー・オブ・ジャパンの定着やイメージアップと集客の向上に取り組むとともに、市内主要施設にサイクルラックや、サイクルマップ等を作成、設置し、誘客を図ります。
- 市の観光を支える団体の活動の活性化に向けた支援、補助を行います。
- 新たな観光メニューの開発に取り組みます。

構成する事務事業

- ・ツアー・オブ・ジャパン開催事業
- ・観光組織推進事業
- ・観光資源開発発信事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H27) | 目標値(H31) |
|------------------------|----|----------|----------|
| ツアー・オブ・ジャパン観客動員数(各年延べ) | 人 | 18,000 | 25,000 |

3 みらい創生プロジェクト

—若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

現状・課題

- 本市の合計特殊出生率は国・県と比較して低い値で推移しています。一方で、市民意向調査によると、理想と現実の子どもの数には差が出ており、その差を埋めるための条件として、経済的支援の充実や、仕事と子育ての両立支援が求められています。
- 本市では国・県と比較して共働き世帯が多くなっているものの、有配偶女性と未婚女性の間では労働力率に乖離が出ており、子育てと仕事の両立に課題を抱えている人が多いことがわかります。

アンケート等からの意見

■市民の声

学校教育にお金をかけてほしい。学校の授業だけでも必要最低限の学力が身につくような授業をしてほしい。

(30代女性)

「通勤に時間がかかって、いなべ市で子育てしたい」と思える魅力ある教育環境、金銭的サポートがあれば将来的に人口が増えるのでは。

(30代女性)

出産にあたり、不妊治療の費用助成を手厚くしてほしい。

(40代男性)

出産後のケアができる場所があるとよい。産後1か月をサポートしてくれるところなど。

(30代女性)

定住や移住を促進するのあれば、子育てしやすいまちにしたほうが良いと思う。子育て世代が住むまちでないと人口も増えないし、活性化もしないと思う。

(30代男性)

今後の方向性

妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援や、地域ぐるみでの子育て支援を充実し、子どもを産み育てやすい環境づくりを進め、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めます。

また、いなべ市ならではの特色ある教育の実施により、次代を担う子どもたちが健やかに育まれる環境を整備します。

■数値目標

| 数値目標 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------|----|------------------|----------|
| 合計特殊出生率 | — | 1.42 (平成25年度) | 1.46 |
| 15歳から49歳の女性の人数 | 人 | 9,187 | 9,200 |

基本的な方向性1**子どもと母親の健康の確保**

○出産、子育ての希望が叶えられるように、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援を行い、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めます。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業1 子どもと母親の健康の確保

○保健師、栄養士などの専門職による教室や自宅訪問により、相談、指導を行うことで、住み慣れた地域で安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。

構成する事務事業

・母子保健事業 ・不妊治療事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|--------------------------------------|----|----------|----------|
| こんにちは赤ちゃん訪問率(各年) (訪問した赤ちゃんの数/出生数) | % | 98.9 | 100.0 |
| 不妊治療の助成申請者数 (各年延べ) | 人 | 21 | 27 |

基本的な方向性2

創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進

○子どもの育ちを地域ぐるみで支える教育基盤を整備します。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業1 地域に開かれた学校づくりの推進

○未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業での地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色ある学校づくりを推進します。

構成する事務事業

- ・小規模特認校教育推進事業
- ・学校地域活性化対策事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・学援隊事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------|----|----------|----------|
| 各校に登録する学援隊員数(累計) | 人 | 1,400 | 1,700 |

基本的な方向性3

「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成

○子どもたちの能力が最大限発揮できる環境づくりにより、次代を担う人材の育成を進めます。

住んで
いーな！

来て
いーな！

基本事業 1 確かな学力の向上

- 小学校、中学校全学年を対象に、学力調査を実施します。
- 少人数教育や特別支援教育等を充実させるために非常勤講師を配置し、児童生徒の「生き抜く力（豊かな心、確かな学力、健やかな体）」を育成します。
- 学級満足度調査（QU）を実施し、いじめや不登校の未然防止や、学習意欲の向上、居心地のよい学級集団づくりに活かします。

構成する事務事業

- ・学力フォローアップ事業
- ・教育振興事業
- ・外国人英語指導事業

■ KPI

| 指標名 | | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---|-----|----|----------|----------|
| 全国学力学習状況調査、「国語の勉強が好き」と答えている小学6年生の割合(各年) | | % | 52.7 | 55 |
| 学級満足度調査(QU)において、満足群に位置する児童・生徒の割合(各年) | 小学校 | % | 57 | 57 |
| | 中学校 | % | 67 | 67 |

※全国平均(H27) …小学校：40%、中学校：37%

基本事業2 小中一貫教育の推進

- 各校の地域的な特色を活かしたテーマ（環境、食育、国際理解、福祉など）による学習活動の充実を図ります。
- ゲストティーチャー等を活用することで地域との交流促進を図ります。
- 体験活動、アクティブラーニングによる教育内容の深化を図ります。

構成する事務事業

・小中一貫教育推進事業

・校外活動事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------------|----|----------|----------|
| 小中一貫教育を導入した学校数 (各年) | 校 | 0 | 15 |

基本的な方向性4

保育サービスの充実

○保育サービスを充実させることで、地域で安心して働きながら子育てができる環境をつくります。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業1 保育サービスの充実

- 利用者の多様なニーズを十分にふまえた保育サービスの提供体制を整備します。
- すべての人が、子育てに対する不安や負担を抱え込むことなく、ゆとりをもって子育てができるよう、きめ細やかな保育サービスをより一層充実します。
- 子どもを預かる場所の充実により、子育てと仕事を両立できる環境を整備します。

構成する事務事業

- ・放課後児童健全育成事業
- ・公立保育園運営事業(人材確保、包括予算)
- ・保育士研修事業
- ・私立保育園運営支援事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-------------------|----|----------|----------|
| 待機児童数(各年) | 人 | 0 | 0 |
| 放課後児童クラブ設置箇所数(累計) | 箇所 | 7 | 10 |

基本的な方向性5

地域における子育て支援の充実

○地域で安心して子育てができるよう、地域ぐるみでの子育て支援体制の充実など、総合的な子ども・子育て支援の充実を図ります。

住んで
いーな!

来て
いーな!

基本事業 1 地域における子育て支援の充実

- 地域の実情に合わせ、子育て家庭が社会において孤立しないよう、家庭や地域、企業、学校、保育園等がそれぞれの機能を発揮するとともに連携を強化し、身近な地域における子育て支援を推進します。
- 子育て支援センターを中心に、地域ぐるみの子育てを推進します。また、子どもの社会性を育むため、子どもたちが仲間や地域の人と触れ合う場へ参加できる施設や事業の充実を図ります。
- 乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行います。また、市民参加による子育て支援を充実させます。

構成する事務事業

- ・ファミリーサポート事業
- ・ブックスタート事業
- ・ブック・Re スタート事業
- ・地域子育て支援事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------------|----|----------|----------|
| ファミリーサポートセンター会員数(累計) | 人 | 317 | 320 |
| 子育て支援センター利用者数(各年延べ) | 人回 | 40,455 | 38,000 |

基本的な方向性6

子どもの発達を支えるチャイルドサポートの充実

○子どもの発達を途切れなく支援することで、安心して子育てができるまちとして、子育てをする親から選ばれるまちをめざします。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業 1 チャイルドサポートの充実

○子どものライフステージにあわせ、母子保健、保育、教育、障がい福祉の各部門が連携し、発達に支援を要する子どもを、出生から就労まで途切れなくつなぎ、支援します。

構成する事務事業

- ・障がい児子育て支援事業
- ・療育支援事業
- ・小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業
- ・発達支援事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---------------------------------|----|----------|----------|
| 子どもの発達にかかわる相談件数(発達検査等を含む)(各年延べ) | 件 | 209 | 280 |
| 個別療育・小集団療育を受ける子どもの数(各年) | 人 | 14 | 20 |

4 くらし創生プロジェクト

—時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

現状・課題

- 高齢化や人口減少による地域の相互扶助機能の弱体化や、地域活動を担う人材の不足が課題となっています。市民意向調査によると、退職後に仕事やまちづくり・地域活動を行うことを希望している人は6割程度となっており、また、今後もいなべ市に住み続けるための条件として「医療機能の整備」「介護・福祉職の充実」を求める人が多くなっています。今後の一層の高齢化の進行をふまえ、支援が必要な人への適切な医療・福祉サービスの提供とともに、元気な高齢者がその力を地域に還元できるような仕組みづくりを進めていく必要があります。
- 企業等調査によると、市の防災対策については概ね十分であると感じている企業が多くなっています。「第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査」では、防犯、防災対策についての市民の注目度が高いことを示す結果が出ており、安心して住み続けられるまちに向けた防犯、防災対策の一層の強化が必要です。
- 市民意向調査によると、市民のまちへの愛着度は8割程度となっており、愛着を感じない人ほど転出意向が高くなっています。安全・安心なくらしを守る施策や、市民が主役のまちづくりの推進により、まちへの愛着度を高め、転出を食い止める必要があります。

アンケート等からの意見

地域のコミュニティが活動しやすい支援や環境づくりを推進してほしい。

(60代男性)

地域住民の助け合いの環境づくりにより、安心して老後の生活ができるようにしてほしい。

(60代女性)

自治会に入らないという家庭を目にするが、震災などの際にも地域のつながりは大切であるため、自治会の加入を働きかけてほしい。

(40代女性)

地元の人を知らない、しゃべったこともない。イベントなども声がかかったことがなく残念。

(20代男性)

いなべ市の自然が好きで、将来も住んでいきたいと思っている。子どもたちにもっと自然を体験させることが、市の拡大にもつながるのでは。

(10代男性)

今後の方向性

人口減少が進んでいくなかで地域での支え合いの仕組みづくりや、防災・防犯対策の推進により、安全・安心で住み続けたいまちづくりを進めます。

また、高齢者の元気づくりを進め、高齢者が活躍できる機会の充実を図ります。

■ 数値目標

| 数値目標 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---|----|----------|----------|
| まちへの愛着度 (総合計画の市民満足度調査で「愛着を感じる」と回答した方の割合) | % | 66.5 | 70 |

○元気づくりシステムの運用で、地域住民自らが集会所等に集まり、介護予防に取り組み、心身機能の維持向上だけでなく、参加者同士のつながりや見守りにもつなげ、高齢者の元気づくりを進めます。

○元気な高齢者が活躍できる機会の充実を図ります。

○地域包括ケアシステムの充実を推進し、本市の様々な地域資源や関係団体、ボランティア等のマンパワーの連携をより一層強化することで、現代的な課題であるダブルケア（介護と子育ての両方に不安を抱えるなど）にも対応できる体制の構築を進めます。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業 1 高齢者の包括的な支援の充実

○複雑化する地域の高齢者の問題に対応できるよう、介護予防や認知症高齢者への支援、権利擁護など、地域包括支援センターの充実強化を図ります。

構成する事務事業

- ・在宅医療多職種連携事業
- ・地域包括支援センター運営事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------------------|----|----------|----------|
| 地域包括支援センターにおける総合相談件数(各年延べ) | 件 | 3,877 | 4,000 |

基本事業2 高齢者が地域で安心して暮らすための支援

○専門職の適正配置や地域の見守りにより、認知症の早期発見・早期対応のほか、高齢者虐待への対応など、高齢者が安心して生活できる環境づくりを行います。

構成する事務事業

- ・在宅老人福祉事業
- ・老人短期保護事業
- ・家族介護支援事業
- ・成年後見制度扶助事業
- ・老人福祉施設保護措置事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|--------------------|----|----------|----------|
| 認知症サポーター数(累計) | 人 | 6,269 | 6,700 |
| 見守りネットワーク協力団体数(累計) | 団体 | 298 | 350 |

基本事業3 高齢者の元気づくりの推進

○就労の機会や社会参加の機会を保ちながら、自ら介護予防に取り組み、心身ともに元気で生きがいを持って生活できる体制づくりを行います。

構成する事務事業

- ・介護予防推進事業
- ・老人福祉センター等管理事業
- ・シルバー人材事業
- ・敬老事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---------------------|----|----------|----------|
| 元気リーダーコース実施箇所数(累計) | 箇所 | 68 | 78 |
| シルバー人材センター登録会員数(累計) | 人 | 762 | 880 |

基本的な方向性2

地域でいきいきと安心して暮らせる障がい者福祉の推進

○障がいのある人が住み慣れた地域で生きがいを持ちながら生活できるように、農業をはじめとする障がい者雇用の充実を図ります。

住んで
いーな!

来て
いーな!

基本事業 1 障がい福祉サービスの充実

○住みなれた地域で自立した生活が維持できるように、農業を通じた障がい者の雇用を確保します。また、農業従事者と地域の人々との相互理解も深めていきます。

構成する事務事業

・農と福祉の活性化事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------|----|----------|----------|
| 農を通じた障がい者雇用数(各年) | 人 | 39 | 57 |

○いつまでも安心して住み続けられるよう、医療体制の整備を図ります。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業 1 救急医療体制の確保

○医療機関との多様な主体の連携などにより、地域の一次、二次救急医療体制を確保します。

構成する事務事業

・救急医療体制整備事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------|----|----------|----------|
| いなべ総合病院の診療科数(各年) | 科 | 22 | 23 |

基本事業 2 医療従事者の確保

○地域医療体制を維持するために、医療機関の勤務医を確保します。

構成する事務事業

・医療従事者緊急確保対策事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-----------------------|----|----------|----------|
| いなべ総合病院の医師数(研修医含む、各年) | 人 | 36 | 45 |

基本的な方向性4

安全で安心な危機管理対策の推進

- 消防団や自主防災組織の組織力向上など、地域防災力の強化に向けた取組の実施により、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- 安全で安心なまちづくりにより、「住み続けたいまち」をめざします。

住んで
いーな！

来て
いーな！

基本事業 1 危機管理体制の整備

- 市民の日常の防災意識の向上に取り組むとともに、災害時に適切な情報発信が行える体制を構築します。

構成する事務事業

- ・防災会議事業
- ・防災無線事業
- ・広域防災事業
- ・災害対策用備蓄資材購入事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|----------------|----|----------|----------|
| 防災講演受講者数(累計延べ) | 人 | 750 | 1,750 |

基本事業 2 組織強化による消防力向上

- 企業に協力を求め、消防団員数の確保を進めるとともに、消防団員の資質向上をめざすほか、様々な形で積極的に消防団活動への支援を行います。

構成する事務事業

- ・消防団事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|-----------|----|----------|----------|
| 消防団員数(累計) | 人 | 321 | 327 |

基本事業3 災害に強いまちづくり

○災害時には隣近所同士の助け合いが重要であるため、自主防災組織設立に向けた支援を行います。

構成する事務事業

・自主防災活動事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---------------|-----|----------|----------|
| 自主防災組織設置数(累計) | 自治会 | 62 | 68 |

基本的な方向性5

安心して暮らせる犯罪のないまちづくりの推進

○犯罪のない安全なまちづくりにより、「住み続けたいまち」をめざします。

住んで
いーな!

来て
いーな!

基本事業1 地域防犯体制の充実

○地域の防犯意識を高め、防犯活動を行う団体に対し、パトロール物品等を貸与します。

構成する事務事業

・生活安全対策事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------------------|----|----------|----------|
| 防犯ボランティア団体結成数(物品貸与自治会含む)(累計) | 団体 | 44 | 48 |

基本的な方向性6

地域の助け合いによる福祉の充実

- まちへの愛着度の向上や協働のまちづくりの推進による、市民主体のまちづくりを進めます。
- 高齢化等により、支援が必要な人が増加していくなかで、地域での支え合いの仕組みづくりを進めます。

住んで
いな!

来て
いな!

基本事業1 地域福祉活動の充実

- 地域福祉を充実させていくために、市民による福祉活動が、自主的、自発的に行えるよう、社会福祉協議会等の活動支援を行います。
- 地域活動推進のために、市民が互いに協力し、主体的な福祉活動が展開されるよう、各種機会の提供や相談等を行います。

構成する事務事業

- ・市民感謝祭事業
- ・民生児童委員事業
- ・社会福祉団体事業
- ・保護司会事業

■KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|------------------------------|----|----------|----------|
| 民生委員から地域包括支援センターへの相談件数(各年延べ) | 件 | 169 | 175 |
| 市民感謝祭参加者数(各年延べ) | 人 | 3,500 | 3,600 |

- コミュニティ意識の醸成により、地域活動の活性化や担い手の育成、支援を行います。
- 山間部などの地域住民による「いなべグリーン・ツーリズム」の活動を通じて、地域の主体性を育み、住民による地域課題の解決を進めるとともに、自然を活かした観光にも取り組み、交流活動を促進します。

住んで
いなべ!

来て
いなべ!

基本事業 1 コミュニティ組織の強化支援

- 自治会の独立性や主体性といったコミュニティ意識の醸成を促すため、広報等の配布や地域の環境衛生に関する事業などを実施します。
- 集会場や公園遊具などのコミュニティ施設を充実させるため、積極的にコミュニティ助成事業（宝くじの社会貢献広報事業）を自治会に斡旋します。

構成する事務事業

- ・コミュニティ活動推進事業
- ・コミュニティ組織連携事業
- ・コミュニティ施設整備事業
- ・グリーン・ツーリズム推進事業

■ KPI

| 指標名 | 単位 | 実績値(H26) | 目標値(H31) |
|---------------------|----|----------|----------|
| 自治会加入世帯数(各年) | 世帯 | 10,908 | 11,000 |
| グリーン・ツーリズムの拠点件数(累計) | 件 | 0 | 5 |

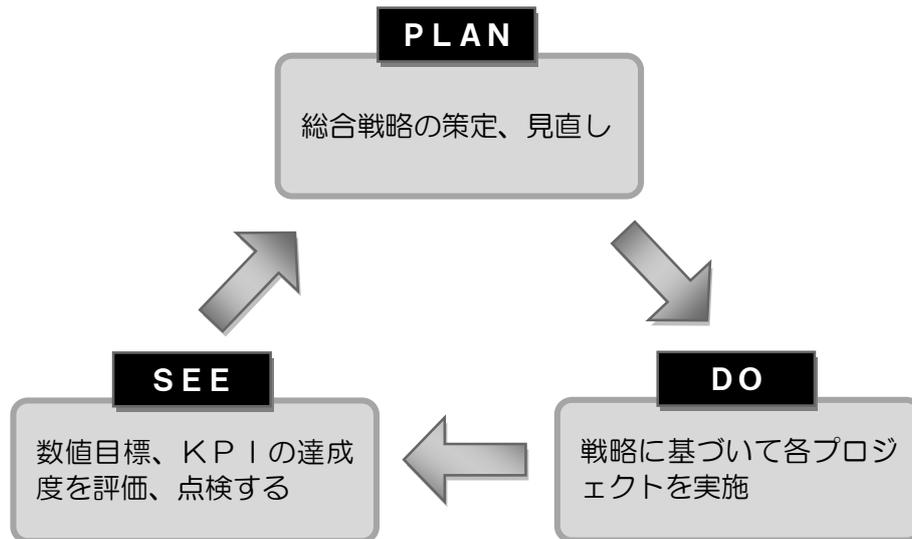
第4章 戦略の推進にあたって

1 戦略の推進体制

本戦略に位置づけられる施策・事業は、総合計画の基本計画に含まれるものであることから、「いなべ市総合計画条例」に基づく総合計画の推進体制を整備し、効果的に戦略を推進します。

2 戦略の進捗管理

本戦略では、基本的な方向性、基本事業を掲げ、それぞれに数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を設定しています。本戦略の進捗管理は、それらの数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の達成状況を評価、点検をすることにより行います。評価、点検にあたっては、PDSサイクル（計画、実行、評価、改善）の視点で、毎年度、戦略の実施状況や効果検証の定量的な評価を行い、必要に応じた取組の改善を行います。



資料編

1 策定経過

| 年月日 | 項目 | 内容 |
|---------------------|-------------------------------|--|
| 平成 27 年 4 月 20 日 | 第 7 回 いなべ市総合計画審議会 | ・ 第 2 次総合計画基本計画の策定について |
| 6 月 | 市民意向調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進学や就職、結婚、出産等に関する意向調査 対象者：18 歳から 49 歳の市民 3,330 人 回収率：37.7% ・ 退職後の暮らしに関する意向調査 対象者：50 歳から 64 歳の市民 1,970 人 回収率：58.7% |
| 8 月 | 企業等調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内企業調査（従業員 50 人以上の企業） 配布数：31 件 回収率：48.4% ・ 地域金融機関調査（指定金融機関、指定代理金融機関、収納代理金融機関） 配布数：13 件 回収率：53.8% ・ メディア調査 配布数：17 件 回収率：11.8% |
| 7 月 27 日 29 日 | 第 1 回 いなべ市総合計画 基本計画策定部会 | <p>【7 月 27 日】産業部会、保健福祉部会 【7 月 29 日】教育文化部会、生活基盤部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画基本計画の位置づけについて ・ 第 2 次いなべ市総合計画基本計画策定に伴う現状と課題について |
| 8 月 20 日 24 日 | 第 2 回 いなべ市総合計画 基本計画策定部会 | <p>【8 月 20 日】教育文化部会、保健福祉部会 【8 月 24 日】生活基盤部会、産業部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いなべ市人口ビジョンについて ・ 第 2 次いなべ市総合計画基本計画（素案）について |
| 9 月 2 日 7 日 | 第 3 回 いなべ市総合計画 基本計画策定部会 | <p>【9 月 2 日】保健福祉部会、産業部会 【9 月 7 日】教育文化部会、生活基盤部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次いなべ市総合計画（案）について |
| 9 月 25 日 | 第 8 回 いなべ市総合計画審議会 | ・ 第 2 次いなべ市総合計画基本計画（案）と総合戦略について |
| 10 月 5 日 | 第 9 回 いなべ市総合計画審議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次いなべ市総合計画基本計画（最終案）について ・ いなべ市総合戦略について |

2 用語解説

| 用語 | 内容 |
|-------------|--|
| 【あ行】 | |
| 空き家バンク | 空き家・空き地の賃貸や売却を希望する所有者から提供された情報を、市情報誌や市ホームページに掲載し、空き家・空き地利用希望者へ提供する制度のこと。 |
| 【か行】 | |
| グリーン・ツーリズム | 農山漁村地域などにおいて、農林漁業体験や地域の自然や文化にふれ、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。 本市においては、過疎化や高齢化が著しい圏域内の中山間地域において、住民を主体とした体験型・着地型の観光としてグリーン・ツーリズムに着目した取組を実施することで、地域の活性化や振興を図ることを目的としている。 |
| 合計特殊出生率 | 1人の女性が一生の間に平均何人の子どもを産むかを示す指標で、15歳から49歳までの女性の年齢別出生数を合計した数値。 |
| 交流人口 | 地域を訪れる人のこと。定住人口に対する概念。 |
| コミュニティ | 人々が共通の意識を持って生活を営む地域または集団などのこと。 |
| コミュニティ・スクール | 保護者や地域住民などで構成される学校運営協議会の意見を学校に反映させ、より充実した学校運営を図る制度。 |
| 【さ行】 | |
| 自主防災組織 | 主に自治会など、地域住民が日常生活上の一体性を感じられる区域を基礎単位として結成された、災害による地域の被害を予防・軽減するための活動を行う組織。 |
| シティプロモーション | 地域の魅力を喚起し、市の知名度やイメージを向上させる活動のこと。 |
| 集落営農 | 農村の集落を単位として、農地の合理的利用、機械・施設の共同利用、共同作業を行って生産コストを下げ、また、専業農家、兼業農家、女性・高齢者の役割分担を明確にして意欲を高める農業形態。 |
| 食育 | 生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。 |
| 成年後見制度 | 契約の締結等を代わりに行う代理人などを選任したり、本人が誤った判断に基づいて契約を締結した場合、それを取り消すことができるようにするなど、知的障がい、精神障がい、認知症等により、判断能力が不十分な成年者を保護するための制度。 |

| 【た 行】 | |
|---------------|---|
| 男女共同参画社会 | 男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重し、ともに責任を担いつつ、性別にとらわれることなく、あらゆる分野でその個性と能力が発揮できる社会。 |
| 地域おこし協力隊 | 総務省が創設した事業で、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、大都市から人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組。 |
| 地域包括ケアシステム | 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるような、地域の包括的な支援・サービス提供体制のこと。 |
| 地域包括支援センター | 専門職員を配置し、地域において予防や介護サービスの総合的なケアマネジメント、相談、生活支援を行う機関。 |
| 地産地消 | 国内の地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取組。 |
| 特別支援教育 | 障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。平成19年4月から、「学校教育法」に位置づけられている。 |
| 【な 行】 | |
| 二次救急医療 | 手術や入院を必要とする重傷者に対する救急医療のこと。 |
| 認知症 | 様々な原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態（およそ6か月以上継続）のこと。 |
| 認定農業者 | 「農業経営基盤強化促進法」に基づき認定を受けた者。地域の農業経営の担い手として、継続的・計画的に農業経営の改善などに取り組むことが期待されている。 |
| 【は 行】 | |
| バリアフリー | 高齢者や障がいのある人などが行う諸活動に不便な障壁（バリア）を取り除くこと。 |
| ファミリーサポートセンター | 乳幼児や小学生等の子どもがいる育て中の労働者や主婦等を会員として、子どもの預かりの援助を受けることを希望する人と当該援助を行うことを希望する人との相互援助活動に関する連絡、調整を行う組織。 |
| 【ら 行】 | |
| 療育 | 障がいのある子どもが、社会的に自立することを目的として行う医療と保育のこと。 |

いなべ市 総合戦略

策定日:平成 27 年 12 月 8 日

編 集:いなべ市地方創生推進本部

事務局:いなべ市企画部政策課

住 所:〒511-0293

三重県いなべ市員弁町笠田新田 111 番地

電 話:0594-74-5840
